

ア・ワールド・ピクチャ-How do you make a world picture?-

会 期=2013年10月12日（土）～11月3日（日）

*10月12日（土）（オープニング当日）は18:00からの入場となります

開場時間=11:00-19:00 月曜休廊

主 催=芸術係数

協 賛=HappyPrinters原宿

会 場=EARTH+GALLERY（アースプラスギャラリー）

〒135-0042 江東区木場3-18-17 1F

オープニング・レセプション=2013年10月12日（土）18:00-21:00

万人に共有される物語が失われ、暗号のようにバラバラで複雑に組み合わせられた世界をあるまとまりをもって描き出す試み。現代のアーティストの課題はこう言い換える事も可能だろう。

タイトルに記された問い「あなたはどのように世界を描くのか？」は、アーティストが見る現在の世界の姿を問うものであるとともに、彼らが導こうとする世界の姿についての問いでもある。

参加アーティストたちが描き出す画像には、このバラバラな世界を結びつける何か、国家、経済、文化、あるいは彼ら自身の夢、思想、欲望たちが、亡霊のように立ち現れてくるだろう。

参加作家（順不同・敬称略）：

藤城嘘（ふじしろ・うそ）

1990年生まれ。日本大学芸術学部美術学科在籍。美術作家。作家活動に平行して、集団制作／展示企画活動を展開する。「カワイイ」・「萌え」などの日本的／データベース的感性をベースに、キャラクターの存在論を問う絵画作品を制作する。個展「モストポダン」

（2010）、芸術係数プレゼンツ藤城嘘個展「キャラクターロニカ」（2013）。カオスラウンジとして「破壊*ラウンジ」（2010）、F/T2011 主催作品「カオス*イグザイル」、「受け入れ」展（2012）など。



hatra（ハトラ）

2010年より「部屋」を主題に居心地のよい服を提案するパーカーメーカー。「ネオコス展」（2010年）、「【新しい】カオス*ラウンジ【自然】」（2010年）、「Future Beauty」（2012年）等への出展のほか、コスプレイヤーうしじまいい肉の衣装製作も数多く担当する。

www.hatroid.com

カガリユウスケ

カバン作家。素材に独自の加工（壁の塗装など）を施したカバンを制作している。主な個展に wall-01-03（2007-9）、「100 念の壁」（2011）、「虚像の質感」（2012）など。本展には hatra とのコラボレーションにて参加。



チバガク

東京生まれ。都市部の日常的風景の写真をフォトショップで加工し、日常／非日常、自生的／構成的、自然／人工という二項対立について考察する画像を制作している。



今井新（いまい・あらた）

1992 年生まれ。港北ニュータウンで育つ。2009 年、ホームレスのインタビュー映像に基づく映像インスタレーション《上野公園。ホームレス。五十嵐さん。》を発表。以来、都市における様々な事象を「取材」し、映像やドローイングによって独自のナラティブに再構成する形式の作品に取り組み続けている。2013 年個展《ここにあるだけの記憶を煙にからませて》を開催。



古郷卓司 (こごう・たくじ)

福岡市在住。ソロ・アーティストとして国内外で作品を発表する他、国際的なコラボレーションのためのプラットフォーム *CANDY FACTORY PROJECTS を主宰。2007 年より北九州国際ビエンナーレ、ディレクター。2012 年以降は「北九州国際ビエンナーレ・ワールド・ツアー」としてベルリン、シンガポール他でプロジェクトを展開中。その他のキュラトリアル・プロジェクト「ブギ・ウギ・ワンダーランド」秋吉台国際芸術村（山口県、2003）、「スクリーム」ファルグファブリケン（スウェーデン、2004）など。また、ソロではリンマン・ギャラリー（スウェーデン、2012）シュトゥットガルト美術館（ドイツ、2010）、「メディア・スコープ」ニューヨーク近代美術館（2007）、横浜トリエンナーレ 2001 など多くの個展や国際展へ参加。ジョン・ミラーとのユニット”ロボット”では、ニュー・ミュージアム NY (2013)、メトロピクチャーズ NY (2011) などで作品を発表している。

website : <http://artonline.jp/>



チャン・ヨンヘ重工業 (Young-hae Chang Heavy Industries)

韓国出身のチャン・ヨンヘと、米国出身のマーク・ヴォージュによるユニット (yhchang.com)。ソウルを拠点に活動。20 カ国語にのぼるテキストアニメーションに、自作の音楽を合わせた作品で知られる。テート美術館（ロンドン）、ポンピドゥー美術館（パリ）、ホイットニー美術館、ニューミュージアム（NY）など、世界各国の美術館で作品発表。2012 年ロックフェラー財団ベラジオセンター・クリエイティブ・アーツ・フェロー。

chloma (クロマ)

画面の中の世界とリアルの世界を境なく生きる現代人のための環境と衣服を提案する、鈴木淳哉と佐久間麗子によるファッションレーベル。2013 年 7 月、「被験者」をテーマに、パラレル世界の 3.11 以後をイメージしたコレクションを発表。東浩紀編集「思想地図β3」でのオリジナルコスプレ衣装制作や、現代アート作家・梅沢和木とのコラボレーション、きゃりーぱみゅぱみゅ等著名アーティストの衣装制作など、インターネットやキャラクター文化へと、モードの手法で切り込む事に挑戦している。



梅沢和木 (うめざわ・かずき)

1985 年生まれ。美術家。武蔵野美術大学映像学科卒業。ネット上の画像を集め再構築し、アナログとデジタル、現実と虚構の境目を探る作品を制作し、発表している。主な個展に「エターナルフォース画像コア」(2009)、「美しい画像コア」(2010)、「大地と無主物コア」(2012)、「梅沢和木回顧展」、「エクストリーム AR 画像コア」(共に 2013) など。カオス*ラウンジとして 2010 年に「カオス*ラウンジ 2010 in 高橋コレクション日比谷」や「破壊*ラウンジ」などの展示に参加。主なグループ展に、「隠喩としての宇宙」展 (2012)、LOVE 展：アートにみる愛のかたち—シャガールから草間彌生、初音ミクまで」(2013) など。



ショーン・スナイダー (Sean Snyder)

1972 年アメリカ生まれ。現在キエフとベルリンを拠点に活動している。ビデオ、写真、テキストに基づいた彼の作品は、テクノロジーによって生産されたイメージ、そしてモンタージュやプロパガンダ技術の使用に関する体系的なリサーチの帰結である。スナイダーは、ポルティクス (フランクフルト 2005)、分離派会館 (ウィーン 2005)、ステデリック美術館 CS (アムステルダム 2007)、ICA (ロンドン 2009)、ギャラリー・ノイ (ベルリン)、ギャラリー・シャンタル・クルーセル (パリ)、リッソン・ギャラリー (ロンドン) など数多くの個展を開催し、イスタンブール・ビエンナーレ、光州ビエンナーレ、マニフェスタなどの国際展を含む多数のグループ展に参加、昨年はサンフランシスコの CCA Wattis で開催された「When Attitudes Become Form Become Attitudes」展に作品を発表している。

*参加作家と出品作品には変更の可能性があります。ご了承ください。

【お問い合わせ・取材のお申し込み】

◎ 展覧会内容・アーティストへの取材／

お問い合わせ芸術係

URL: <http://gjks.org>

e-mail: info@gjks.org

担当: 辻憲行

◎ その他のお問い合わせ

〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17 1F

EARTH+ GALLERY

TEL/FAX: 03-5809-9949

e-mail: info@earth-plus.net

URL: <http://earth-plus.net/>

担当: 松崎、山中



EARTH+GALLERY